

優秀賞

高れい者体験で分かったこと

真鶴町立まなづる小学校四年 長谷川 まほら

私は、買い物をしているとき、高れい者を見かけて「おそいなあ」と思ったことがあります。自分も早く買い物が出たかったです。でも、学校の高れい者体験の授業で、高れい者の買い物がどれだけ大変なのかが分かりました。

私は、高れい者体験で、手足に重りをつけて歩きました。動きづらくて苦しく、重りを外した時には「何て手足が軽いんだろう」と思いました。こんなに手足が重かったら、動きが遅くなるのがよく分かりました。

また、ゴーグルをつけるととても見にくかったです。スーパーのチラシが見えにくかったり、おさいふの中のお金が見分けられなかったりしてイライラしました。会計に時間がかかるのは、見えにくいという理由があったことがよくわかりました。

私は、町で見かけたおばあちゃんの荷物を持ってあげたことがあります。そのおばあちゃんはとても喜んでくれてうれしかったです。高れい者体験をしてみて、そのおばあちゃんも荷物を運ぶのが大変だったんだろうなと思いました。

このように、高れい者の買い物はとても大変なのだと分かりました。今まで「おそいなあ」と思っていたけれど、高れい者体験をして、一生けん命に買い物をしているのだから、やさしい気持ちで待ってあげる必要があったのだと思いました。

これからは、高れい者の気持ちを考えていきたいです。そして困っているところを見かけたら助けたいです。